

度也

ト述へ次ヲ我宗健三ハ
九州ノ京阪地方リ異リ衆多ク且交通ニ便ナリ
従テ無産階級ノ教育モ之亦可成ル状態ナリ
故ニ吾々兄弟ノ組合負メ爾等意欲ニ目醒メテ
勞働者ヲ叫合場大ニ吾々ノ主眼ヲ貫徹スル爲ニ
如斯ク教育ノ必要ヲ痛切ニ感スモテ已故ニ吾面
大会ニ提案シテ如ク出来得ル限リ巡回教育ヲ施
スニトニ適當ナル方法ヲ講ニテ實ニ成ル
ト希望シ述へ最後ニ奥田宗太郎ノ演説ヲ聞合テ
之ニ去ノ勞働教育經過ヲ述へ考テ其ノ一因紀念振
興ノ手帳ナリ時頃誤笑裡ニ解散シタリ

兵衛防務第四の二號

大正十四年三月十八日

兵衛縣知事 平塚 鷹義

内務大臣 若槻禮次郎 殿

社會局長 官長 岡隆一郎 殿

各縣 縣長 官 殿

日本勞働總同盟 全國大會 紀念

演說會 開催 狀況ニ 關スル 件

標記 全國大會 第三日 (十七日) 終了 後 一般 聴衆ニ 對

シ 入場料 三十 大ヲ 定メ 紀念 演說會ヲ 開催ス

ルカ 其 狀況 概ニ 如シ